



ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）化等による住宅における低炭素化促進事業のうち 集合住宅（低層・中層）における低炭素化（ZEH-M化）促進事業

2019年度予算額（案）
830百万円（1,000百万円）

事業目的・概要等

背景・目的

- 2030年のCO2削減目標達成のためには、家庭部門からのCO2排出量を約4割削減しなければならない。
- その達成には、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス化が進んでいないZEH-Mの社会実装及び一層の普及を促進する必要がある。
- このため、集合住宅（分譲・賃貸）のZEH-M化に対する支援を連携事業として行い、低層（1～3層）・中層（4・5層）の集合住宅のZEH-M化に対する支援を環境省において実施する。
- 加えて、より低炭素性能の優れた先進素材活用を促進することにより集合住宅の低炭素化を促進する。

事業概要

- ① 低層（1～3層）・中層（4・5層）の集合住宅（賃貸・分譲）において、ZEH-Mを新築する者に定額の補助を行う。
- ② ①の要件を満たす住宅に、低炭素化に優れた素材を一定量以上使用する者に定額の補助を行う。（10万円/m³（上限額：1500万円/棟））
- ③ ①の要件を満たす集合住宅に、蓄電池を設置する者に定額の補助を行う。（2万円/kWh（上限額：20万円/台））

事業スキーム

間接補助対象：集合住宅（賃貸・分譲）を建築する者
補助率等：①定額（60万円/戸）
②定額（10万円/m³（上限額：1500万円/棟））
③定額（2万円/kWh（上限額：20万円/台））
事業実施期間：平成30年度～34年度（2022年度）

期待される効果

- 家庭部門のCO2削減目標達成のため、集合住宅（賃貸・分譲）のZEH-M化の端緒を開く。
- 省エネ性能表示や「環境性能」の検索条件の整備と普及啓発を一体的に行い、低炭素型の住宅を選好する機運を高め、市場展開を図る。
- 低炭素化に優れた素材を使用したZEH-Mとなる住宅を供給し普及の端緒を開く。

イメージ



<参考：低炭素素材>
CLT：直交集成板
(Cross Laminated Timber)



②ZEH-Mに対する低炭素素材導入への支援